2019 CSR

Corporate Social Responsibility Report

報 告 書



三ツ星ベルト株式会社

MITSUBOSHI BELTING LTD.

【目　次】

1. 企業プロフィール …… 2

2. 環境への取り組み …… 8

3. 品質への取り組み …… 13

4. 社会貢献活動 …… 16

5. 働き方改革と人材育成活動 …… 23

6. コーポレートガバナンス …… 25

7. 内部統制体制 …… 25

編集方針

三ツ星ベルトグループは、経営方針やCSR に対する考え方・推進体制・活動内容をわかりやすく開示し、ステークホルダー（株主・顧客・従業員・地域社会等）の方々とのコミュニケーションを図ることを目的に、毎年「CSR 報告書」を発行しています。

対象期間

2018年4月1日～2019年3月31日を中心に、一部期間外の情報を含みます。

1. 企業プロフィール

■ 会社概要

商　　号：三ツ星ベルト株式会社
Mitsuboshi Belting Ltd.

創　　業：1919年(大正8年)10月10日

資 本 金：81億5,025万1,031円

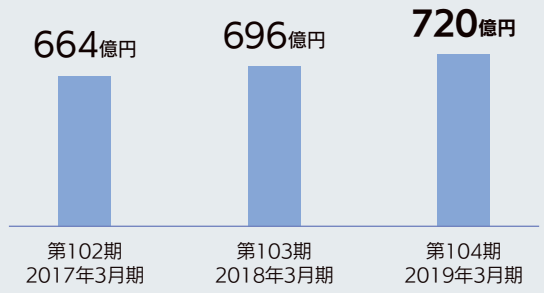
従業員数：4,342人(単体　713人)
(2019年3月31日現在)

■ 営業品目

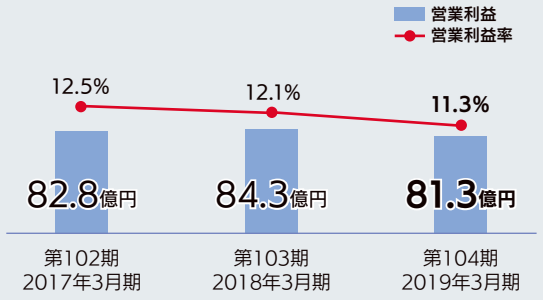
■伝動ベルトおよび関連機器
■搬送ベルトおよびシステム・関連製品
■エンジニアリングプラスチック
■発泡射出成形品（エンジニアリングストラクチュラルフォーム）
■防水・遮水材
■金属ナノ粒子関連製品

■ 財務ハイライト（連結）

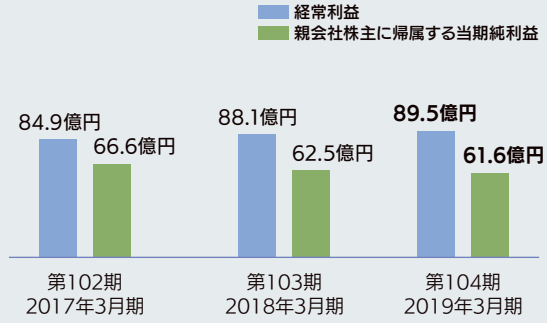
売上高



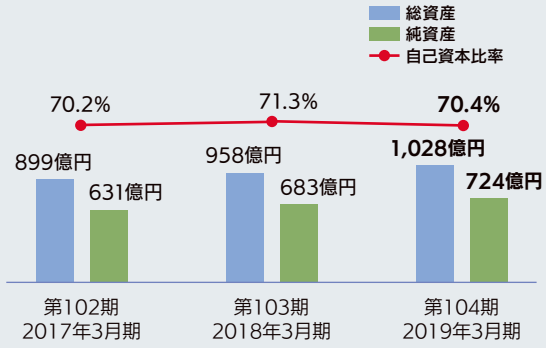
営業利益・営業利益率



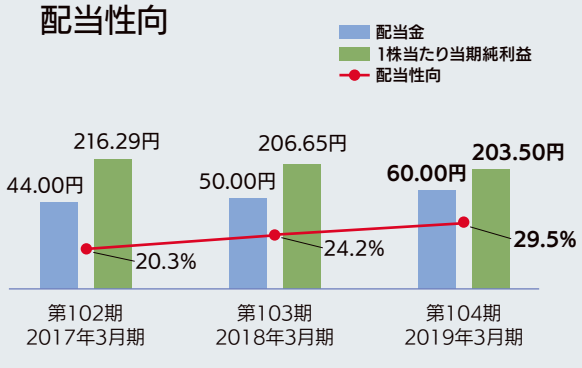
経常利益・親会社株主に帰属する当期純利益



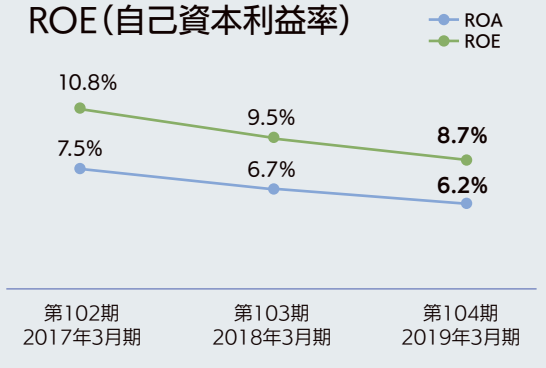
総資産・純資産・自己資本比率



配当金・1株当たり当期純利益・配当性向



ROA(総資産利益率)・ROE(自己資本利益率)



※当社は2018年10月1日付で、普通株式2株につき1株の割合で株式併合を行っており、当該株式併合後の基準で換算した数値を記載しております。

国内ベルト事業

売上高 283億95百万円

営業利益 71億39百万円

日本国内でのベルト(※)の製造・販売事業です。

(※)伝動・搬送ベルト、金属製品、樹脂製品



自動車のエアコン、オルタネータ等、多数の軸を1本で回す"自動車用Vリブドベルト"

海外ベルト事業

売上高 329億17百万円

営業利益 34億11百万円

海外でのベルトの製造・販売事業です。



大型バイク等にも採用される、音が静かで変速がスムーズな"自動二輪車用変速ベルト"

建設資材事業

売上高 59億78百万円

営業利益 2億47百万円

建築用防水材・土木用遮水材の製造・販売事業です。



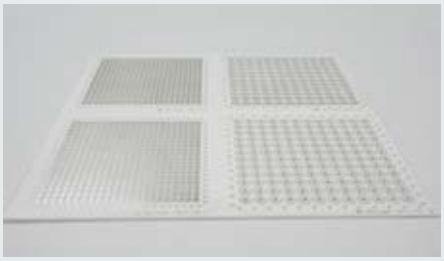
農業用貯水池で使用される"遮水シート"

その他

売上高 47億10百万円

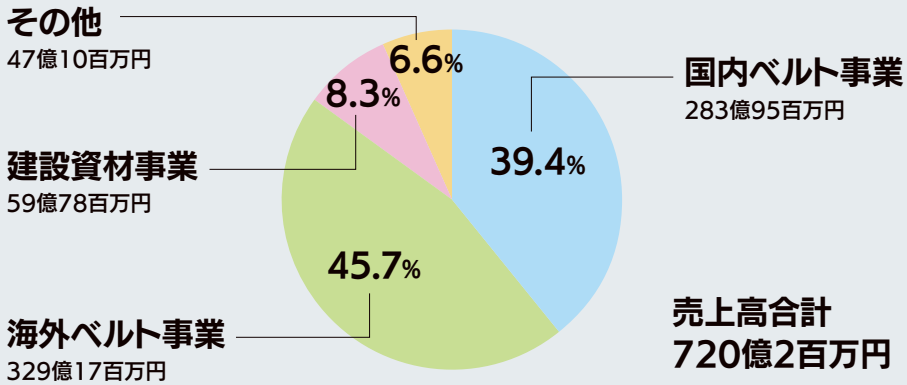
営業利益 1億79百万円

エンジニアリングストラクチュラルフォーム、
金属ナノ粒子を応用した新製品の製造・販売、
ならびに仕入商品等の販売事業です。



セラミック基板に適用可能で回路設計の多様化に貢献する、"高温焼成型導電性配線材料"

売上高構成比



人を想い、地球を想う

それは、三ツ星ベルトが未来に託す願いです

確かな技術力が実現する
高機能・高精密・高品質

環境問題への全社的取り組みで
実現した「ISO 14001」認証取得



「ISO 9001」「IATF16949」は
世界的な品質基準。三ツ星ベルトは
数々の認証を取得しています。

三ツ星ベルトグループは、各種製品で世界トップレベルの品質システム向上のため、ISO 9001、IATF16949の認証取得を推進しています。

また、世界的に環境保全の充実が求められるなか「人を想い、地球を想う」の基本理念のもと、ISO14001の認証をも取得しています。



三ツ星ベルトは先進の発想と技術で人と地球の豊かな未来を創ります。

三ツ星ベルトは工業用ベルトの専業メーカーとして1919年に神戸で創業して以来、たゆまぬ研究と開発を重ね、業界のリーディングカンパニーへと成長してきました。防水・遮水材、エンジニアリングプラスチックなどに業容を拡大した今も、「品質を作り、品質を売る」という創業の精神は連綿として受け継がれ、お客様から厚い信頼をいただいています。

グローバル化・ボーダレス化が進み、価値観が変わったとしても、品質にこだわる姿勢は変わりません。品質保証に関していえば、世界でも特に厳しいといわれる自動車産業向けの国際品質マネジメント規格、IATF16949の認証を内外の工場で取得する一方、各種製品でISO9001の認証を取得しています。また、環境マネジメント規格、ISO14001についても主力工場で認証を取得し、高品質かつ地球に優しい製品の開発に積極的に取り組んでいます。

今後も、「高機能、高精密、高品質な製品の提供を通して社会に貢献する」を経営基本方針に掲げ、「人を想い、地球を想う」の基本理念のもと、人々の生活と産業の発展を支える製品を社会に提供してまいります。



代表取締役社長　垣内 一

経営方針

当社は、次世代の産業分野のニーズに対応できる製品づくりの観点から「高機能、高精密、高品質な製品の提供を通して社会に貢献する」ことを「経営基本方針」とし、また、社員一人一人が「今日に誇りを持ち、明日に希望を託し行動する」を社訓とします。さらに、人にも地球にも優しい「人を想い、地球を想う」を「基本理念」と定め、当社グループ全体が社会の発展とともに共存共栄していくことを指針とします。

社　　訓	今日に誇りを持ち、明日に希望を託し行動する
基 本 理 念	人を想い、地球を想う
経営基本方針	高機能、高精密、高品質な製品の提供を通して社会に貢献する

経営戦略

●世界に通用する財務体質づくりを目指すため、当社グループ全体の資産効率の向上を図り、今後もより一層の体質強化を図ります。

●世界的な技術競争に対応するために、研究開発体制、技術力の強化を図り、基礎技術の蓄積と製品開発のスピード化を推進します。

●次世代を見定め、よりユーザニーズに対応した高機能、高精密、高品質な製品を生産する製造ラインの実現に向け、生産システム並びに研究開発の機能充実を図り、独自の優位性を持った新しい考え方を採り入れた生産システムの確立に取り組んでいます。

●世界的なコスト競争力に対応するために、世界最適生産体制の確立とコスト競争力のある体質づくりを目指して取り組んでいます。

●生産、販売及び物流体制の強化を図るため、立地面の優位性、効率性を重視し、国内外を問わず拠点の再整備を行い、引き続き一層の充実を図ります。

●人材の確保と育成を図るため、新卒社員の採用並びに専門的知識と経験の豊富な人材の通年採用を積極的にすすめています。

●環境との調和をめざした製品技術・生産技術などの開発により技術領域を広げていくとともに、地球規模の視野に立った環境保全活動を行い、社会に貢献する企業づくりを推進いたします。

CSRを推進するために

■ CSR基本方針

三ツ星ベルトグループのCSR活動は、「人を想い、地球を想う」の基本理念のもと、先進の発想と「高機能・高精密・高品質」を提供する高度な技術力の追求によって当社グループを取り巻くステークホルダー（株主・顧客・従業員・地域社会等）との共生を図り、継続して人と社会に貢献することで、快適で豊かな未来を目指してまいります。

・社会への貢献
優れた技術に基づいた安全で信頼性の高い製品を提供することで、関係する取引先と連携し社会から必要とされる製品の一端を担うことにより、世界の「ものづくり」に貢献する。

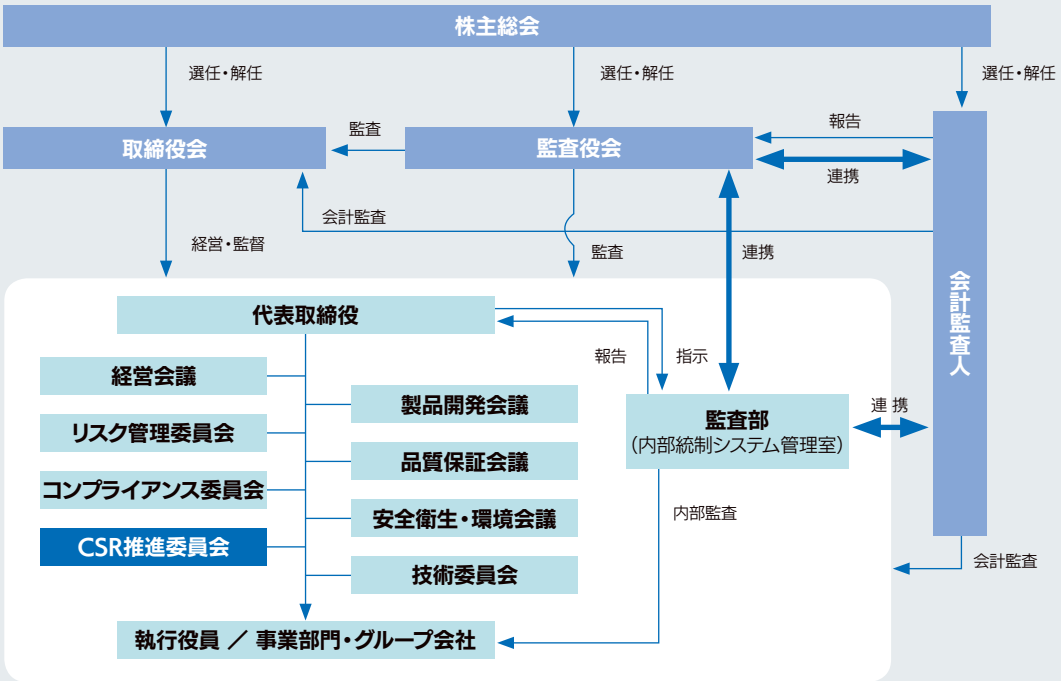
・地域社会との連携と協調
広く社会とのコミュニケーションを大切にし、事業活動を果たしながら、地域社会との連携と協調を図り、共生することで社会に貢献する。

・地球環境への貢献
環境への負荷が少ない製品づくりやグループで環境保全を推進することで、地球環境との共存を常に意識した企業づくりを目指す。

・人権の尊重
社会の人々と従業員の人権を尊重し、従業員一人ひとりが働きやすく、活躍でき、働きがいのある職場を提供できる企業を目指す。

・経営統治の継続的強化
法令の遵守、適法な事業活動を継続し、当社グループもステークホルダーも共に成長できる企業を目指す。

■ CSR推進組織の位置づけ



社長が指名する担当役員を委員長とする「CSR推進委員会」を設置し、CSR基本方針に基づき具体的な活動計画を策定し推進してまいります。

2. 環境への取り組み

■ 環境基本方針

ISO14001に準拠した環境マネジメントシステムを構築し、「人を想い、地球を想う」の基本理念に基づき、環境基本方針を定めています。

1. 三ツ星ベルトグループは、伝動ベルト、搬送ベルト、金属製品、樹脂製品、建築用防水材・土木用遮水材及び金属ナノ粒子を応用した新製品の「高機能、高精密、高品質」なゴム・プラスチック等の製品群のメーカーとして、環境への多大な関わりをも持っていることを認識し、全ての事業活動において環境との調和を目指した製品技術・生産技術等の開発により、技術領域を広げていくと共に、「人を想い、地球を想う」の基本理念のもとに地球規模の視野に立った環境保全活動を行い、社会に貢献する企業づくりを推進する。
2. 材料、エネルギーの投入から開発設計、製造、販売等の各段階より生み出される事業活動・サービスに関わる環境影響を的確に把握し、汚染の防止及び予防、気候変動の緩和及び気候変動への適応、生物多様性保全に努め、継続的に改善する。
3. 資源の採取から製造、使用、廃棄等に至るまでライフサイクルの視点に立ち、当社の製品が環境に及ぼす影響を把握し、部品・材料及び製造段階での有害物質の不使用、リサイクル材の使用、リサイクル性を配慮した設計と製造等の取り組みを通じて、グリーン商品の提供を推進する。
4. 環境に関する法規制及びその他関連する要求事項を順守すると共に、各事業場の立地における自然環境を維持し、地域社会の一員としての自覚と責任を持ち地域における環境保全に努める。
5. 環境管理体制の整備、充実を図り、省資源・省エネルギー・廃棄物の低減・リサイクルの促進・環境負荷物質の削減等の目標を定め、定期的に見直しを行い、環境パフォーマンスの向上が達成できるように従業員一人ひとりに徹底し、これらの環境活動の継続的改善を推進する。
6. この環境基本方針は、維持され、毎年度見直され、実行されるものとする。また、この環境基本方針は構内全従業員に周知されるよう徹底する。
7. この環境基本方針は、社外開示用に文書化し、一般の人まで入手可能なものとする。

■ ISO14001認証取得状況

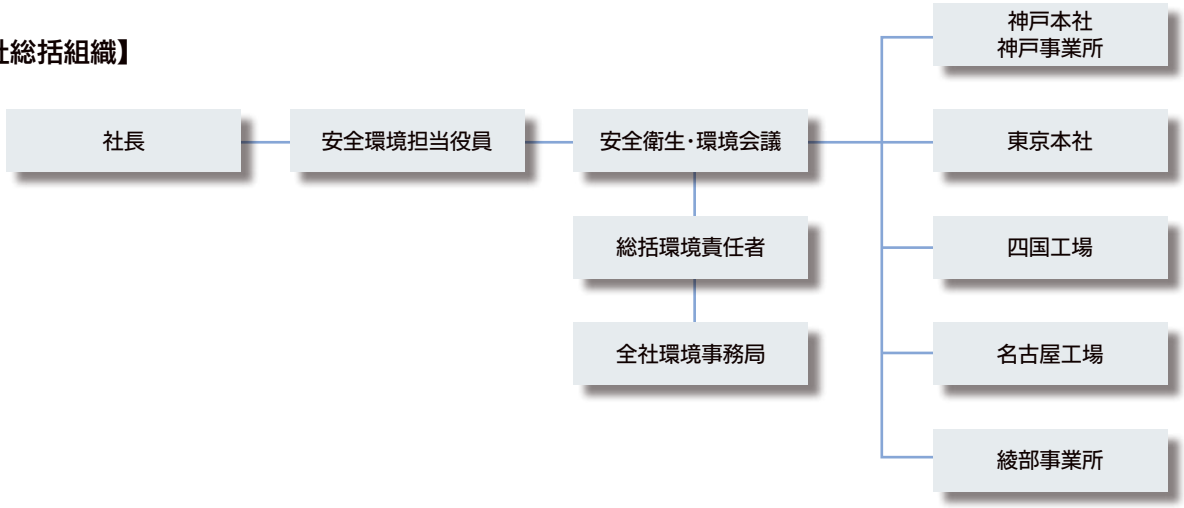
当社グループは、1999年9月以降、国内外の拠点でISO14001の認証を取得し環境保全活動を促進しています。

三ツ星ベルト㈱（神戸本社・事業所、名古屋工場、四国工場） 三ツ星ベルト技研㈱ 三ツ星ベルト樹脂㈱ 三ツ星ベルトコンベヤ㈱ ネオ・ルーフィング㈱	一般産業用ベルト、自動車用ベルト、 搬送ベルトおよび関連製品、 エンジニアリングプラスチック、 発泡射出成形品、防水シート、 金属ペースト、回路基板材料および塗料
MITSUBOSHI OVERSEAS HEADQUARTERS PRIVATE LIMITED	一般産業用ベルト、自動車用ベルト
MBL (USA) CORPORATION	一般産業用ベルト、自動車用ベルト
P.T. SEIWA INDONESIA	一般産業用ベルト、自動車用ベルト
P.T. Mitsuboshi Belting Indonesia	一般産業用ベルト、カップリングゴム弾性体
STARS TECHNOLOGIES INDUSTRIAL LIMITED	一般産業用ベルト、自動車用ベルト
蘇州三之星機帯科技有限公司	一般産業用ベルト、自動車用ベルト

■ 環境推進組織

年2回、安全衛生・環境会議を開催し、環境に対する課題に取り組んでいます。また各事業場では毎月環境委員会を開催し、地区ごとの環境状況の確認を行っています。

【全社総括組織】





第102回安全衛生・環境会議



神戸事業所 環境委員会

■ マテリアルバランス

インプット → 事業活動 → アウトプット

エネルギー投入量	
電気	380,110GJ※
重油	186,670GJ
ガス	76,409GJ
ガソリン	1,113GJ

※ GJ:ギガジュール

資材投入量	
ゴム	5,879t
樹脂	2,540t
繊維・薬品	4,528t

水資源投入量	
水道水	60,000m³
工業用水・地下水	871,000m³

温室効果ガス	
CO_2	34,389t

廃棄物	
廃棄物	3,304t

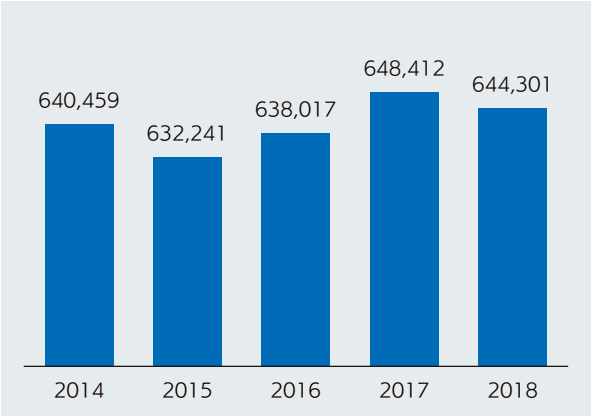
排水	
下水道排水	53,000m³
公共用水域排水	597,000m³

・データは国内4事業所についての値です。
・重油ボイラーからガスボイラーへの転換により、エネルギー投入量、CO_2排出量を削減しました。

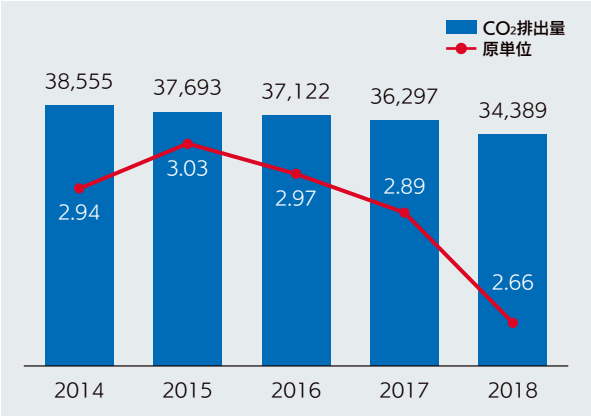
■ 低炭素社会の構築

当社グループは、日本ゴム工業会の「自主行動計画・目標」への参画を通じて、温暖化対策（CO_2削減）、3R対策（排出物発生抑制・リユース・リサイクル化）、VOC（揮発性有機化合物）排出削減などを推進しています。

エネルギー使用量（GJ）



CO_2排出量（t）



- 経団連の低炭素社会実行計画に参画し、エネルギー使用量低減、CO_2排出量低減活動を進めています。
- CO_2排出量原単位は2015年以降、低減しています。

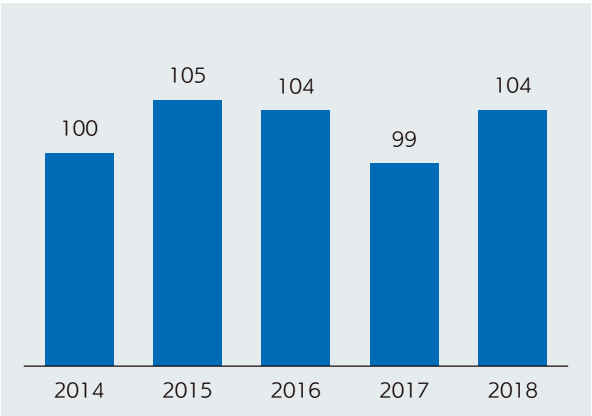
■ 循環型社会の構築

ゼロエミッション

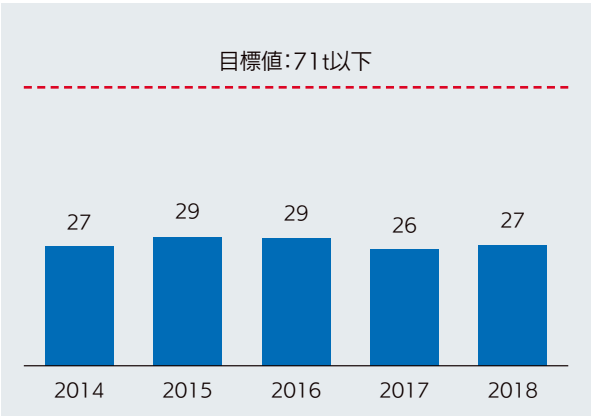
ゼロエミッション活動推進により廃棄物最終処分量はゼロを維持しています。

■ 環境負荷物質管理

化学物質排出・移動量（t）



VOC排出量（t）



揮発性有機溶剤（VOC）排出量は、日本ゴム工業会の目標値である「2000年度実績からの半減以下」を達成し維持しています。今後も引き続き、生産効率改善を進め、環境負荷低減活動を推進します。

■ 環境配慮型製品の開発

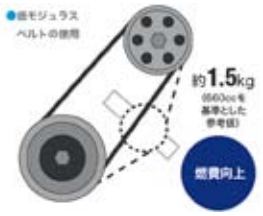
当社グループは環境配慮型製品の提供を通して、地球環境保全に取り組んでおります。

自動車用低モジュラスベルト　Star Fit®

自動車用低モジュラスベルト「Star Fit®」を採用することで張力調整が不要となり、アイドラ&ブラケットレス化によって約1.5kgの軽量化を実現。燃費向上に貢献します。







自動車用補機駆動用ベルト 低フリクションロスベルト

低燃費化に向けた競争が激化する日本の自動車業界。そのニーズに応えるべく、開発に成功したのが、補機駆動システム用の低フリクションロスベルトです。ベルトの曲がりや変形によるフリクション（摩擦）ロスを、ベルトリブ部の内部発熱を抑えることで低減し、ベルトの伝動効率を高めることに成功し、約3万点と言われる自動車部品の中の補機用ベルト単体で低燃費化を実現しました。さらに耐発音性や耐摩耗性といった機能も両立させた画期的な製品として、自動車メーカーへの採用が広がっています。





省エネルギー用ベルト　e-POWER®

e-POWER®シリーズは、形状を特殊（ノッチ形状・コグ形状）とする事によって動力損失の最大要因である曲げ応力を軽減した、省エネ効果を高めた環境にやさしいベルトです。また専用プーリが不要で、ベルトの交換のみで消費電力を低減できます。





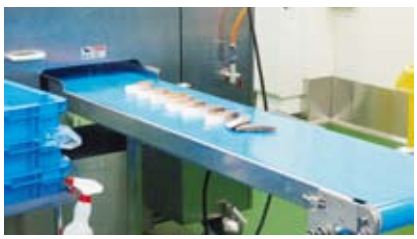
自動車向け発電機（オルタネータ）用プーリ　Smastar®

自動車エンジンはアイドルストップ、小排気量化、直噴化等の燃費向上技術により、エンジンの回転変動が増加傾向にあり、補機ベルトシステムは過酷な使用環境となっています。ベルトの張力変動を吸収するプーリとして開発したオルタダンパプーリSmastar®は、張力設定を下げることができ、ベルトからの発音の抑制、ベルト寿命の向上、さらに燃費向上に貢献します。



食品搬送コンベヤベルト　ママライン鏡面ベルト

ベルト表面の平滑性を飛躍的に向上させた鏡面仕上げのベルトです。表面の拭き取りや清掃が容易になり、衛生面での問題を解消します。また清掃時間を大幅に短縮する事ができるので、清掃に関わるエネルギー消費の削減に貢献します。





【通常ベルト】

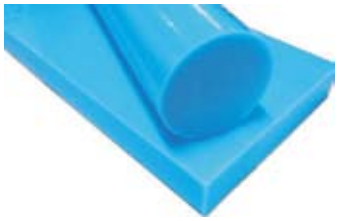
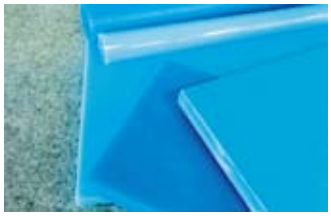


【鏡面ベルト】



抗菌・防かび樹脂素材　クリンピー®シリーズ

食品機械部品などに主に使用される高密度ポリエチレン、超高分子量ポリエチレン、ポリプロピレン樹脂素材に抗菌、防かび性能を付与した高付加価値製品です。食の安全を守り、環境・衛生に貢献するエンジニアリングプラスチックです。


風力発電機用フリースパンタイミングベルト

地球温暖化の原因となる温室効果ガスを排出しない再生可能エネルギーとして認識が高まっている風力発電機用ブレードのピッチ調整に使用されています。




環境対応型ゴムシート防水材 ネオ・ルーフィングE糊付き（フィルム無し）

セパレーターフィルムを使用しない片面接着工法用の接着剤付加硫ゴム系防水シート「ネオ・ルーフィングE糊付き（フィルム無し）」を開発しました。従来の接着剤付シートに比べ、施工能率が向上し、併せて廃材を大きく削減できる環境対応型の防水シートです。



露出断熱防水工法　ネオハードフォーム防水工法

建物の省エネルギー基準の強化により、屋上防水材に対する断熱性能の要求が高まっています。ネオハードフォーム防水工法は、断熱性能に優れた硬質ウレタンフォームと糊付加硫ゴムシートを組み合わせた高性能の露出断熱シート防水工法です。接着工法のため機械的固定工法に比べて、騒音や振動の発生がありません。高日射反射塗料との組み合わせにより、高い省エネ機能を発揮し空調費用を低減します。



LED照明器ガラスカバー塗料「三ツ星ハイカラー®S（光拡散仕様）」

照明をLED化することにより、消費電力の削減と長寿命化により環境負荷低減につながります。「三ツ星ハイカラー®S（光拡散仕様）」はLED照明の普及に貢献しています。

特　長

■薄い乳白色と表面のフロスト調でLED光を拡散します。
■ガラスに対する高い接着力を有します。
■耐候性・耐久性に優れています。



3. 品質への取り組み

■ 品質基本方針

三ツ星ベルトグループでは、「経営基本方針」を「品質基本方針」と定め、その「行動基準」に基づき、顧客に提供する製品・サービスの質向上を図るための品質保証体制を整備し、活動しています。

品質基本方針

「高機能、高精密、高品質な製品の提供を通して社会に貢献する」

行 動 基 準

① 顧客の満足を得る製品を開発する。

② 全社的品質管理(TQM:Total Quality Management)を充実・レベルアップし、国内外業界のトップレベルの品質を確保する。

③ 決めた標準を守って仕事を行う。

■ 品質マネジメントシステム取得による品質保証への対応

品質マネジメントシステムについては、自動車用関連部品で世界トップレベルの品質システム向上を図るため、国内外の工場で、自動車業界の国際品質規格IATF16949の認証を取得するとともに、各種製品でISO9001の認証を取得し、品質保証体制の強化を図っています。

IATF16949・ISO9001・JIS A 6008 認証取得

規格種類	対象	
IATF16949	産業資材事業部門(四国工場)	自動車用ベルト
	三ツ星ベルト技研㈱	自動車用ベルト
	MBL (USA) CORPORATION	自動車用ベルト
	STARS TECHNOLOGIES INDUSTRIAL LIMITED	自動車用ベルト
	MITSUBOSHI OVERSEAS HEADQUARTERS PRIVATE LIMITED	自動車用ベルト
	P.T. SEIWA INDONESIA	自動車用ベルト
	蘇州三之星機帯科技有限公司	自動車用ベルト
	MITSUBOSHI BELTING-INDIA PRIVATE LIMITED	自動車用ベルト
ISO9001	産業資材事業部門(神戸本社、東京本社、名古屋工場、四国工場) 三ツ星ベルト技研㈱	一般産業用ベルト、 ウォームホイールブランク
	建設資材事業部(神戸本社、東京本社、名古屋工場)	建築用防水シート、土木用遮水シート
	研究開発部	金属ペースト、回路基板材料および塗料
	三ツ星ベルト工機㈱	タイミングプーリ
	三ツ星ベルトコンベヤ㈱	搬送用樹脂ベルト
	MITSUBOSHI OVERSEAS HEADQUARTERS PRIVATE LIMITED	一般産業用ベ ルト
	P.T. Mitsuboshi Belting Indonesia	一般産業用ベルト、カップリングゴム弾性体
	P.T. SEIWA INDONESIA	一般産業用ベルト
	STARS TECHNOLOGIES INDUSTRIAL LIMITED	一般産業用ベルト
	蘇州三之星機帯科技有限公司	一般産業用ベルト
JIS A 6008	建設資材事業部(名古屋工場)	合成高分子ルーフィングシート

■ 従業員の品質意識向上　–QC(品質管理)サークル活動–

三ツ星ベルトグループでは、「品質基本方針」に基づき、全社的品質管理(TQM: Total Quality Management)を推進しています。その一環として、1967年からQC(品質管理)サークル活動に取り組んでいますが、近年は、国内工場に留まらず、海外にも広がり、グローバルな人材育成・改善活動の場として定着しています。毎年、秋には「三ツ星ベルトグローバルQCサークル大会」を開催し、現場における製品の品質管理や作業効率の改善などの事例を発表し合い、相互研鑽を図っています。また、一般財団法人 日本科学技術連盟主催のQCサークル全国大会に、毎年、選抜サークルが発表するなど、社外のQCサークル発表会にも積極的に参加し、レベル向上を図っています。



2018年度三ツ星ベルトグローバルQCサークル大会(タイ)


2018年度QCサークル全国大会(金沢)


2019年度QCサークル全国大会(神戸)



2019年度QCサークル全国大会(神戸)

一般社団法人日本科学技術連盟主催のQCサークル全国大会に、2018年度は四国工場代表の2サークルが、2019年度は神戸事業所代表のサークルが出場し、発表を行いました。惜しくも感動賞の受賞は逃しましたが、他社の参加者に分かりやすく伝える難しさを実感した、よい勉強の場となりました。


2018年度QCサークル全社大会(名古屋工場)


2019年度QCサークル全社大会＆工場見学会(四国工場)

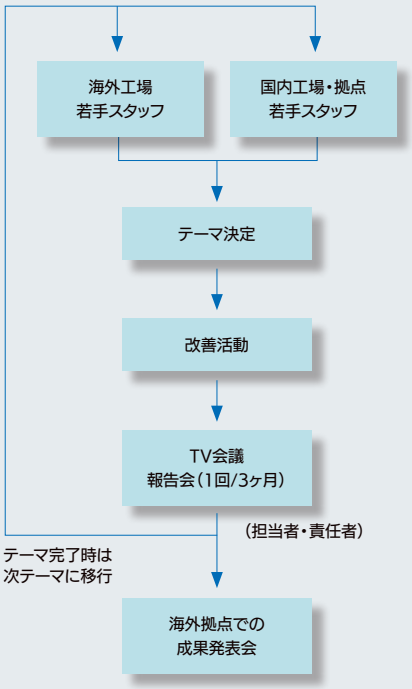
毎年、夏に開催されるQCサークル全社大会は、国内生産工場で開催しています。
発表会の後は工場見学会を行い、改善内容を実際に現場で確認し、自社製品の製品知識向上に役立てています。

GLOBAL GEMBA KAIZEN ACTIVITY

国内外工場、拠点の若手スタッフが主となり、生産工場における、生産性向上や歩留まり向上、不良低減などの原価低減テーマを計画的に改善していきながら、人材の育成を図る取り組みを実施しています。

テーマの選定は、各工場より1件以上とし、国内工場スタッフと海外工場スタッフが連携し、各テーマを解決していきます。先輩スタッフを交えた定期的な進捗報告会や、年1回の海外工場での活動成果発表会などを通して、改善活動のレベルアップを図っています。前回は2018年11月に、合計8ヶ国(8工場)がタイ国に集い、KAIZEN報告や検討会を実施し、懇親を深めました。

活動フロー



活動状況

WEB 会議



海外工場



国内拠点

TV会議





2018年度成果発表交流会(タイ)













4. 社会貢献活動

三ツ星ベルトグループ従業員は、ボランティア団体「三ツ星ベルトふれあい協議会」を結成し、地域の皆様とのふれあいを大切にしながら、会社と共に社会貢献してまいります。

ふれあいイベントの開催
―地域とともに―



地域に根ざした企業として、協議会では「住民と企業の共生によるまちづくり」を目指し、三ツ星ベルトグループ従業員のボランティアスタッフによる"ふれあいイベント"を地域の子どもたちを招いて開催し、住民との交流を深めています。

イベントは従業員の手作りで、活動資金は従業員からの寄付でまかなわれています。

住民と企業が共生するまちづくり
― 緑のまちへ ―



神戸市長田区南部を緑あふれる、みんながたのしくなる良い街にするため、区民・行政・企業が一体となって緑化に取り組む活動です。三ツ星ベルトもこの運動に賛同し、2017年神戸・長田たなばたまつりから、どんぐり苗木5,000本の植樹を開始し、緑化活動を推進しています。

子どもたちの未来を応援
― 世界の子どもたちに愛の手を ―



世界中では依然として戦争、自然災害、貧困などにより、年間560万人もの子どもたちが5歳未満でその尊い命を失っています。三ツ星ベルトは「人を想い、地球を想う」という基本理念のもと、これら子どもたちのお役に立てればと、従業員一人ひとりから寄せられた寄付金を主体に、公益財団法人日本ユニセフ協会への寄付金贈呈を毎年継続しています。また、子どもたちの未来を応援するこの活動は、国内各事業場にとどまることなく、海外拠点にも展開しています。

防災への取り組み
― 災害に負けない ―



1995年1月に発生した阪神・淡路大震災では、三ツ星ベルト従業員で構成する自衛消防隊約60人がいち早く火災現場に出動、地域住民と協力して延焼をくい止めました。また、地域の被災者約400人の避難所として、4ヶ月間に渡って会社所有の体育館を開放するなど、地域とのつながりを深めてきました。この助け合いの精神が、地域との協力による防災に、今もなお息づいています。

三ツ星ベルトふれあい協議会の活動

■ ふれあいイベントの開催

【神戸本社・事業所（神戸市長田区）】
わたしたち、みんなピッカピカの子どもたち（4月）

真野地区の小学校に入学した新1年生を招待して、入学をお祝いする会を開催しています。地元の警察署や消防署の協力による交通安全指導や、子どもたちの歌の発表、屋外では白バイやミニ消防車に乗って記念撮影など、子どもたちの健やかな成長を祈っています。







たなばたまつり（7月）

地域に隣接する神戸市営地下鉄海岸線が2001年の7月7日に開通したことを祝って始まったたなばたまつり。綾部事業所がある京都府綾部市から笹の寄贈を受け、周辺道路は願い事が書かれた笹飾りで華やかに彩られます。特設ステージでは、子どもたちによる歌や踊りが披露され、会場内には地域住民や三ツ星ベルト従業員が思い思いに企画した数多くの屋台が軒を連ねます。四国工場がある香川県さぬき市からはさぬきうどんが、京都府綾部市からはあゆの山賊焼きが毎年来場者に振舞われ、今では神戸・長田の夏の風物詩となっています。







ふれあいクリスマス会（12月）

地域住民を招待してクリスマス会を開催しています。子どもたちの歌や踊りが披露され、ボランティア参加の従業員が扮したサンタやトナカイが会を盛り上げ、子どもたちにプレゼントを手渡します。フィナーレは参加者全員でクリスマスソングを大合唱します。







【東京本社（東京都中央区）】ミュージックサロン（年2回不定期）

震災復興にあたって多くの方からサポートをいただいたお返しをしたいと、東京で入場無料のコンサートを開催しています。観客の音楽ファンのみならず、出演する若手の音楽家の皆さんには、一流のコンサートホールで演奏する機会として喜ばれています。







【四国工場（香川県さぬき市）】さぬき手打ちうどんと地引網 体験会（5月）

四国工場に隣接する海岸での地引網と、さぬきうどんの手打ち体験会を開催しています。神戸本社や綾部事業所からもバスを連ねて大勢参加し、普段できない貴重な体験が喜ばれています。







【綾部事業所（京都府綾部市）】
あゆのやな漁 見学会（9月）

綾部市を流れる由良川で、期間を限って行われる伝統漁法“あゆのやな漁”を見学する会を開催しています。神戸本社や四国工場からもバスを連ねて参加し、川に仕掛けられた“やな”に打ち上げられて飛び跳ねるあゆを手づかみで捕まえようとする子どもたちの歓声が絶えません。







■ 住民と企業が共生するまちづくり

【神戸市長田区南部区民の想い育む緑づくりプロジェクト】

“神戸市長田区南部区民の想い育む緑づくりプロジェクト”に賛同し、京都府綾部市、香川県さぬき市のご協力を得てわたくしたち「三ツ星ベルトふれあい協議会」はこの活動に取り組んでいます。









【“学校ビオトープ”の支援】

三ツ星ベルトふれあい協議会は、社員のボランティアで兵庫県下の教育施設に100ヶ所以上のビオトープ（生物生息空間の池）設置に協力しました。







■ 子どもたちの未来を応援する活動

「人を想い、地球を想う」という基本理念のもと、子どもたちへの支援活動を行っています。

阪神・淡路大震災で三ツ星ベルトの本社がある神戸市長田区は壊滅的な被害に見舞われました。歳月が流れるとともに災害に対する当時の記憶は薄れつつあります。しかし、世界中では依然として貧困などによって、年間560万人もの子どもたちが5歳未満でその尊い命を失っています。

三ツ星ベルトグループは「人を想い、地球を想う」という基本理念のもと、こうした子どもたちの役に立ちたいと、震災10年目の節目にあたる2005年から「世界の子どもたちに愛の手を」と題して、グループ従業員一人ひとりから寄せられた寄付金を主体に、公益財団法人日本ユニセフ協会に対する寄付金贈呈を毎年継続して実施しています。

※ユニセフ（UNICEF・・・国際児童基金）

We Support

unicef



【日本ユニセフ協会への寄付金贈呈】



【関係自治体（兵庫県・神戸市・綾部市・さぬき市）への電動アシスト自転車寄贈】





■ 社会貢献活動（海外関係会社）

海外関係会社でも「人を想い、地球を想う」という基本理念のもと、子供たちへの支援活動を行っています。当社主力工場のあるタイとインドネシアではこれまでに支援活動を行ってきた幼稚園・小学校の子供たちを工場に招待して、日本の「祭り」の雰囲気を体験してもらいました。また、地域社会との協業による環境保全活動も行っています。

SEIWAまつり（インドネシア）





STIまつり（タイ）





タイでの環境保全活動

タイの STARS TECHNOLOGIES INDUSTRIAL LIMITEDでは2018年12月、南東部サタヒップ沖にあるシリントーン王女様保有の島で、全従業員が小学生や海軍とともに海岸清掃を行い、海岸に流れ着いた1.6トンのプラスチックごみを集めました。









■ 防災への取り組み（防災訓練）

地域との協力による防災

三ツ星ベルトでは、事業場ごとに毎月一斉防災訓練を行うなど、従業員の災害に対する意識向上を図っています。
阪神・淡路大震災が発生した1月17日を「三ツ星ベルト防災の日」とし、消防署の協力を得てスケールアップした総合防災訓練を毎年行っています（2019年は1月23日に実施）。

訓練は震度6強の地震が発生したことを想定しています。近隣の方々も参加し、避難訓練、負傷者救助訓練、炊き出し訓練を定例訓練として行っています。また、バケツリレー、土嚢積みによる浸水防止訓練、応急担架による負傷者搬送訓練なども行っています。







広告塔への防災無線スピーカー設置

神戸事業所近隣住民から寄せられた「防災行政無線放送が聞こえにくい」との声を受け、長田区のランドマークともいえる三ツ星ベルトの広告塔へのスピーカー設置を神戸市危機管理室へ要請し、2019年5月設置に至りました。スピーカーには新世代スリム型スピーカー※を採用し、音達範囲の向上を図っています。

三ツ星ベルトは今後も地域の防災行政に協力するとともに、地域の安全・安心の強化に努めてまいります。

※新世代スリム型スピーカー：スピーカーの構造や特性を改良し、高い出力レベルにより、従来のスピーカーに比べより遠く（仕様上の音達範囲は300m）、より明瞭に音を届けるもの。





5. 働き方改革と人材育成活動

■ 働きやすい諸制度

従業員が多様な働き方を可能とするため、休暇制度の充実、柔軟な勤務時間制を取り入れています。有給休暇は時間単位で取得可能、結婚休暇・出産休暇・メモリアル休暇・ふれあい休暇等、育児や介護の必要な従業員の立場・視点より考え、働きやすい環境となっています。特に育児を行いつつ働いている従業員が短時間勤務を行った場合、所定内時間より少なくなった時間を賃金から差し引かず、賃金を支給しています。育児と仕事の両立が行いやすい環境を整えています。

また「子育てサポート企業」として、2008年に厚生労働大臣の認定を受け、「くるみん」を取得しました。今後も従業員が安心して働ける環境作りに取り組んでまいります。



2006年度より、お星さま制度及びお星さま休暇を創設し社会全体を支え貢献できる制度を導入しました。

1. お星さま制度

母子家庭または父子家庭、障がいのある子供をもつ従業員に支援金を毎月支給しています。2006年度より多くの従業員に支援金を支給してきました。

支援金を受けている従業員の実態を見ると、平日に行われる幼稚園、保育園等での行事参加や急な子供さんの病気のための通院等で休暇を取る必要性がありました。また介護の必要な身内のために休暇を取る従業員も見受けられました。そこで次のお星さま休暇制度も導入しました。

2. お星さま休暇

共働き世帯、母子・父子家庭の学校行事への参加、障がいのある子供の通院や要介護者及び老人の介護等のための休暇を取得できます。要件ごとに年間の休暇数に上限はありますが、休暇による賃金は減額していません。







■ 人材育成活動

国内研修

国内では、階層別研修（新入社員から管理職）、自主保全士育成、通信教育などを行い、特に新入社員研修は、安全教育の後、1年間の工場実習、基礎講座、簿記資格取得など徹底した研修を実施しています。



安全教育の一環としてパレットを分解し、椅子作りを行っています。



自主保全士育成の中で金属加工設備の使用方法などを体験しています。

徳星塾

教養を高め、人格の形成と品位の向上を図る事を基本とし、世界に通用する幹部社員の養成を目的とした教育・研修を行っています。



徳星塾での研修風景です。

海外研修

海外との交流（体験）による人材育成の一環として、2000年より海外研修を行っています。毎年数名ずつ、現地に住み、現地の大学に1年間通っています。今までアメリカ・ドイツ・中国・タイなど幅広い国で研修をし、海外との交流を深めています。

従業員の能力を高め、多様性、人格、個性を尊重する人材育成活動を行っています。



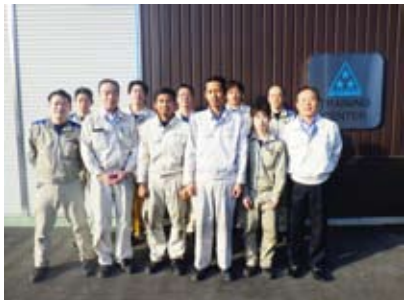


海外社員の育成

海外関係会社より、現地従業員を日本に受け入れ、生産技術・品質管理を現場で研修しながら日本語も学んでいます。また現地で担当している業務を、さらに深く学習しています。日本で研修・学習した内容を、各国へ持ち帰り、海外関係会社にて展開することにより、更なるレベルアップへ貢献しています。



設備図面の見方を学んでいます。



指導者の方々との写真です。



研修終了後、修了書を授与します。

6. コーポレートガバナンス

■ コーポレートガバナンスに関する基本的な考え方

当社は、株主の信頼を確保し、企業の社会的責任を果たすためには、コーポレート・ガバナンスの充実が経営上の最重要課題のひとつであると考えています。この考えの下、事業環境や市場の変化に迅速かつ柔軟に対応して業績向上に努めていくとともに、経営の効率性・透明性を維持・向上させるため、次の基本方針に基づき、経営に対する監督機能や内部統制体制の強化等に取り組み、コーポレート・ガバナンスの充実を図っています。

[基本方針]

(1)株主の権利を尊重し、株主の平等性を確保することに努める。
(2)ステークホルダー(株主・顧客・従業員・地域社会等)の権利や立場を尊重し、適切に協働することに努める。
(3)会社情報を適時・適切に開示し、透明性・公正性を確保することに努める。
(4)株主に対する受託者責任・説明責任を踏まえて、取締役会等の役割・責務を適切に果たすことに努める。
(5)株主との間で建設的な対話を行うことに努める。

■ コーポレートガバナンス体制の概要

当社は、社外取締役2名を含む取締役7名から構成される取締役会、社外監査役2名を含む監査役4名から構成される監査役会を置く監査役会設置会社です。

毎月開催される取締役会において、重要事項に関する意思決定等を行い、取締役の業務執行に対する監督を行っています。なお、重要事項に関しては、取締役会の開催前に十分な事前協議を行うために、経営会議を開催しています。また、当社は執行役員制度を導入しており、経営上の意思決定・監督機能と業務執行機能を分離することで、業務執行体制の強化を図り、経営の効率性を追求しています。

7. 内部統制体制

■ リスクマネジメント

当社は、社長が指名する担当役員を委員長とする「リスク管理委員会」を設置し、同委員会を中心として、リスク管理活動を推進しています。同委員会では、毎年、当社の事業活動に重大な影響を与える「重大リスク」とその対応責任部署を定め、対応方針と対策を決定して「重大リスク」への対応活動を推進するとともにその進捗状況と有効性を審議(年2回)することによって、リスク管理活動の継続的な改善を図っています。さらに、委員会の都度、取締役会に報告し、取締役会の指示事項をリスク管理活動に反映させています。

■ コンプライアンス

当社は以下の体制により、当社グループにおけるコンプライアンスに関する問題の発生防止並びに早期発見・自主的解決を図るようにしています。

- 法令・定款を遵守した行動をとることを示す指針として、「三ツ星ベルトグループ行動基準」を制定し、当社グループの役員及び従業員に対してその周知徹底を図っています。
- 社長が指名する担当役員を委員長とする「コンプライアンス委員会」を設置し、同委員会を中心として、コンプライアンス活動を推進しています。同委員会では、毎年、当社の事業活動に重大な影響を与える「重大コンプライアンスリスク」とその対応責任部署を定め、対応方針と対策を決定して「重大コンプライアンスリスク」への対応活動を推進するとともにその進捗状況と有効性を審議(年2回)することによって、コンプライアンス活動の継続的な改善を図っています。さらに、委員会の都度、取締役会に報告し、取締役会の指示事項をコンプライアンス活動に反映させています。
- さらに国内については、法令・定款違反またはそのおそれ等に関する情報提供を受け付ける内部通報窓口を社外の弁護士事務所に設置するとともに、情報提供者に対して不利益な取扱いをしてはならない旨の規程を定め、周知徹底を図っています。



三ツ星ベルト株式会社

高機能
高精密　高品質
信頼の結束



PRINTED WITH SOY INK
この印刷物は環境に優しい
大豆油インキを使用しています。

●シルバー
この印刷物は、E3PAのシルバー基準に適合した
地球環境にやさしい印刷方法で作成されています
E3PA：環境保護印刷推進協議会
http://www.e3pa.com
S07-0092

Q137DATA1910UR01872A97